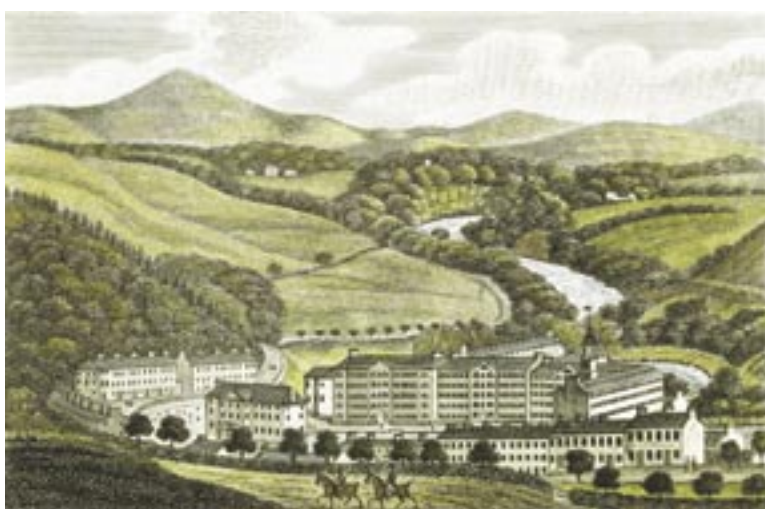


特集

オウエン-チャーティスト
関係コレクション



ニューラナーク工場全景
オウエンの社会主義はこの工場の
経営を通して芽ばえた。
下図左からユートピア・コミュニティ
の構想が成熟した過程を示す。



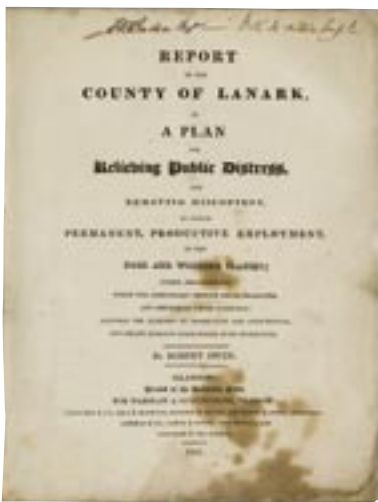
CONTENTS

オウエン-チャーティスト関係コレクション
図書館長就任に当たって
LIBRARY NAVIGATOR
新収資料紹介
INFORMATION



ユートピア社会主義者ロバート・オウエン(Robert Owen, 1771-1868)(写真 左)の**Report to the County of Lanark, (『ラナーク州への報告』1821年初版)**(写真 下)が、このたび中央図書館に納められた。これは、オウ

エン自筆の鉛筆による多数の削除と書き込みがほどこされたまことに貴重な文献である。すでに所蔵されていた**A New View of Society, (『新社会観』1817年版、初版は1813-4年)**とあわせて、彼の二大主著がそろうことになった。この機会に、「**オウエン・チャーティスト関係コレクション**」と題して紹介することにしよう。その大部分は、本学の先輩研究者たちが長期にわたって蒐集したものである。いま、全体を通覧してみると、蒐集者たちの意図を超えて、21世紀が問にかけている課題に照らして、意外にも新鮮な輝きを放つかもしいという予感を抱かせるものである。



「ユートピア社会主義」が日本に紹介されたとき、「空想的…」という訳語が使われた。オウエニズムが「科学的社会主義」以前の過去の遺物か、役に立たない絵空事という先入観をあたえるに十分だった。そこ

で、「オウエニズムとは何か」しばらく説明をしておこう。

最も優れたオウエン研究者J.F.C. ハリソンは、オウエニズムをさまざまな思想が流れ込む「貯水池」と表現した。やがて、19世紀後半の思想界を潤す知的水源になるという意味が込められていた。オウエニズムの主な思想源泉は啓蒙思想にある。まず、人

間の性格は環境によって決定されるとの博愛主義を継承し、「商業主義の弊害」から労働者階級の救済と全人類の解放を目標とすることになった。理神論もそこから取り出し、既成の宗教を否定し、「新宗教の樹立」を宣言し、不信仰運動の水脈を形作る。

18世紀末から、功利主義が有力な時代思潮となっていたので、若いオウエンはジェレミ・ベンサム(Jeremy Bentham)、ウィリアム・ゴドウィン(William Godwin)らの影響下にあった。現代的視点からみると、功利主義を利己の人間の快楽思想とする通俗的理解は修正される必要がある。それは、徹底した個人主義を基礎としていたが、社会全体の幸福を追求し、社会変革を平和的手段によって推進することを課題とした思想であった。今日、民主主義の形骸化を防ぐ方法として、情報の開示や統治機関への監視とそれへの参加による「参加型民主主義」が注目されている。この形態を最初に提起したのはベンサムら功利主義者であった。

産業革命の寵児、オウエンは、資本家的精神の持ち主として、功利計算の原理を前述の博愛主義と結びつけ、スコットランドのニューラナーク工場の経営に成功した。過度な自由競争を否定して、市場経済の弊害を除去できるとの信念は、『新社会観』において、一つの社会観となった。ナポレオン戦争終結後、深刻な不況・失業に見舞われたとき、議会は、名声を高めたオウエンに打開策を諮問した。それへの答申書で、政府が一定の土地を確保し、そこに貧民収容の施設を建設し、優れた環境のもとで農・工業に従事させれば、高い生産性が確保され、失業者は救済されるであろうと提言した。これが彼の描いた最初のコミュニティ構想である。まだ、社会主義という言葉はなかったが、このラディカルな提案を政府は採用を見合わせた。オウエンは公開講演会を開き、『**タイムズ**』など全国版の新聞にこれを公開した。1820年には、スコットランドのラナーク州が、再び同じ趣旨の諮問をおこなった。その答申書が今回入手した『**ラナーク州への報告**』である。

1825年には、オウエンはアメリカに渡り、この構想を実験するが見事に失敗する。イギリスへの帰国を前に、全米の宗教者に討論を呼びかけ

た。一人の聖職者が名乗りを上げた。**R. Owen / A. Cambell, Debate on the Evidence of Christianity, 1829**はそのときの速記録で、オウエンが既成の宗教勢力との間で繰り広げる紛争の幕開けを告げている。失意のうちに帰国してみると、彼の留守中、イギリスには、オウエナイト(Owenites)と呼ばれる信奉者の集団が形成され、1830年代から40年代初めにかけて、全国的な規模の大衆運動へと発展する素地ができあがっていた。



1838年、「人民憲章(People's Charter)」を旗印にして、成年男子普通選挙権を要求するチャーティスト運動(Chartist movement)が成立した。全国的規模で展開した労働者階級の最初の政治運動である。運動の内部では、戦術をめぐる穏健派と実力派との対立がきわだっていた。穏健派の主要なリーダーとなるヘンリー・ヘザリントン(Henry Hetherington)、ウィリアム・ラヴェット(William Lovett)、ジェームズ・ブロンテール・オブライエン(James Bronterre O'Brien)らは、オウエナイトであったが、その強い影響下にあった。実力派の指導者ファーガス・オコナー(Feargus O'Connor)の戦術は、平和的手法に徹するオウエンとは対極をなしていた。だが、45年以降、オコナーが進めた「土地計画」は、小額の出資金を支払う組合員による一種の協同組合が、土地を購入して営まれるプランであった。オウエニズムの枠組みのなかにあり、株式

会社にする手法も瓜二つであった。

コレクションには、新聞や一面刷りの原史料の数々が含まれている。たとえば、オウエンが最初にプランを公表した日の新聞“Times”、アーネスト・ジョーンズが刊行した新聞“The People's Paper”のほぼ完全版、労働者政党の原型と評価される「全国憲章協会」の規約と目的を記した“National Charter Association”、空腹にあえぐ貧民と税金を貪り食う金持ちとの所得を対比した一覧表“The New Black List”など、まことに興味つきない史料集といえよう。(写真 左)

39年の「第一次請願」に失敗したあと、42年の不況をきっかけに、失業と貧困の状態がイングランド北部工業地帯に広がり、各地でストライキが頻発した。そこは武器製造職人が住む地域と重なっていた。ひそかに民衆の武装化がささやかれ、政府は軍隊を派遣し、鎮圧の意志を示した。The Illustrated London NewsやPunch, or the London Charivariには、民衆と治安当局との小競り合いの記事がイラストをつけて掲載され、騒然とした状況がヴィジュアルに報じられた。(写真 下)



その頃までに、オウエンはハンプシャーで、最後のコミュニティを設立するが失敗し、オウエナイト運動は急速に衰退した。チャーティスト運動も、1848年の「第三次請願」を取り繕うのが精一杯で、まもなく、その歴史的使命を終えることになった。

このコレクションには、オウエンの最初期のコミュニティ・プランから最も成熟した構想までを、イラストとともに検証できるというもう一つの魅力がある。表紙に示した図版は、オウエンのコミュニティ構想が、1817年に誕生してからしだいに豪華な施設へと成熟する過程をたどっている。A Development of the Principles and Plans on Which to Establish Self-Supporting Home Colonies, 1841, 2nd ed.には、4つの塔をもつ壮

麗なビル、住居・学校のほかに、図書室、美術室、博物館など贅をつくした施設のプランが描かれている。(表紙図版 右端)

最後に、現代的視点から再検討が期待される二人の思想家を取り上げよう。まず、トマス・クーパー(Thomas Cooper)(写真 右)である。**The Purgatory of Suicide, 1845, (初版)、Old-fashioned Story, 1875, 2nd ed., The Life of Thomas Cooper, 1877**など、6点も所蔵されていることに驚く。彼の生涯は宗教的な改宗と政治的な変節を繰り返した。従来このような曲折は無節操だと断罪されてきた。複雑な時代状況を考慮してみると、新しいチャーティスト運動論がえられるかも知れない。もう一人は、19世紀後半に、オウエニズムの協同組合運動と不信仰運動の思想を持ち込んだジョージ・エイコブ・ホリヨーク(George Jacob Holyoake)である。彼の**Self-help by the People: the History of the Rochdale**

Pioneers, 1844-1892, 1893, 10th ed.および**The Co-operative Movement To-day, 1896, 2nd ed.**が所蔵されている。功利主義の視点から、市場経済のあり方を問うさい、たんに協同組合的視野からのみでなく、今日のNGOやNPOなど「参加型」組織の民主的運営に示唆をあたえるであろう。

中央図書館には、幸い二つの功利主義コレクションがある。世界に誇れる「ベンサム・コレクション」と、充実した「ゴドウィン・コレクション」である。これらと補い合うならば、ここに紹介したコレクションの意義は著しく高まるであろう。



図書館長就任に
当たって

図書館長 古城 利明

川口前館長の辞任をうけて、昨年10月18日より図書館長に就任しました。突然のことでしたので運営も方針決定も当初は泥縄式で対応せざるを得ませんでした。そのなかで就任1ヵ月後にあたる11月18日に関西大学で開催された私大図書館協会シンポジウムに参加しましたが、これはわたくしの図書館像をリフレッシュするのによい機会になりました。シンポジウムではイリノイ大学の図書館長であるポーラ・カウフマン(Paula Kaufman)女史が基調講演を行いました。その主張は、ひとことでいえば、21世紀の大学図書館は「場所としての図書館(the library as place)」から「図書館としての場所(the place as library)」へと変化する、というものです。このことは、いかえれば、キャンパス内のメインの場所に位置する図書館というイメージから、大学という場所そのものが図書館になるというイメージへの変化です。この後者について同女

史は、「物理的位置に関係なく提供され、構築されるリソースやサービスの集合」とも表現しています。くだいていえば、学習、教育、研究の現場に図書館司書がいて、これらの活動を援助し、その目的達成に協力する、というイメージです。この背景にはカーボンベースからシリコンベースへの変化を初めさまざまな技術的、社会的変化がありますが、それらは省略します。

さて、このようにイメージを転換してみますと、中央大学も含めて日本の大学図書館は従来型の静的なイメージを固守しているかにみえます。しかし、すでに日本でも転換は始まっています。シンポジウムのパネラーのひとり大西有三京都大学図書館機構長が紹介した同大学の例は、カウフマン女史の描くイメージにはまだ遠いとはいえ、なかなか刺激的なものでした。それは、端的に言えば、独立性の強い学内諸図書館・図書室の連携・調整を強化したネットワーク型の図書館機構を、情報技術に関して情報環境機構との調整を深めながら立ち上げる、というものです。こうした例と照らし合わせて中央大学図書館をみると、学内図書館・図書室の連携は進んでいますし、情報環境整備センターもあり、基盤はすでに十分にあるように思います。その基盤を生かして21世紀型の図書館への途を拓くことがわたしに課せられた課題であろうかと思っております。

Library Navigator

図書館システムが新しくなりました！

図書館システムは3月下旬から、新しいシステムに切り替わりました。館内の利用者向けパソコンも一新されました。ここでは、新図書館システムの機能のご紹介をさせていただきます。新システムの基本メニューは、①蔵書検索、②新着照会、③貸出予約照会、④ユーザプロフィール更新の機能になります。それぞれについて、ご紹介しましょう。



トップページのメニュー画面



詳細検索画面

①蔵書検索

トップページの「蔵書検索」のメニューを選択しますと、詳細検索画面へと展開します。簡易検索画面も用意されていますが、複数の検索項目の指定ができる詳細検索画面から探すのがおすすめです。検索項目は、タイトル、著者名、件名、分類、ISBN/ISSNなど、基本的には旧システムと同様な項目から探すことができますが、新システムからは、フルタイトル、フリーワードという新たな項目から検索ができるようになりました。

フルタイトル: 書名の完全一致検索を行うことができます。書名が短い語からなる資料、たとえば、「世界」だと「創」などで検索しようとする、キーワード検索では膨大な検索結果が出てきてしまいます。そうした場合、このフルタイトルから探せば、書名全体の形で指定できるので有効です。

フリーワード: タイトル、著者名、出版者、件名といった複数の検索項目を同時に探しにいきます。検索の範囲を広くして探したい場合に有効です。

②新着照会

最近、図書館で利用できるようになった図書の一覧を見ることができます。1週間前までの図書が検索対象になります。所蔵館が主題(分類)で条件指定したうえで、新着資料を表示することができます。主題で資料を特定したい場合は、NDC(和図書)かDDC(洋図書)の分類で資料を特定します。また、主題(分類)と所蔵館とを掛け合わせて条件指定することもできます。

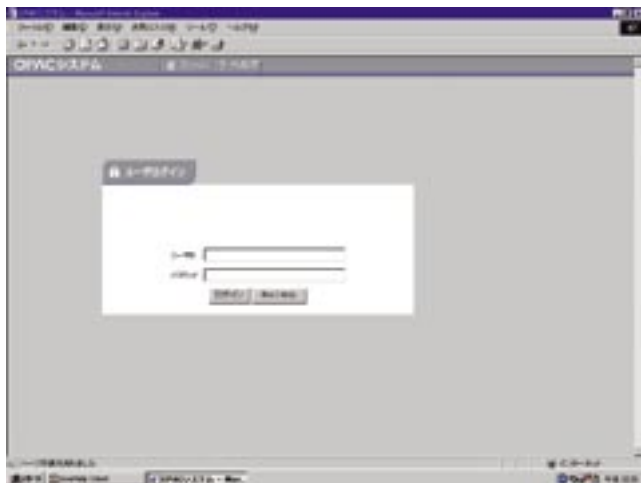
③貸出予約照会

ご自身が借りている資料の一覧である「貸出状況」、予約している資料の一覧である「予約状況」を確認できます。また、貸出の延長や予約の取消の手続きを行うことができます。とりわけ、貸出期限の延長(更新)の手続きは、これまでは図書館の各カウンター窓口にお越しいただいて、手続きを取っていただき

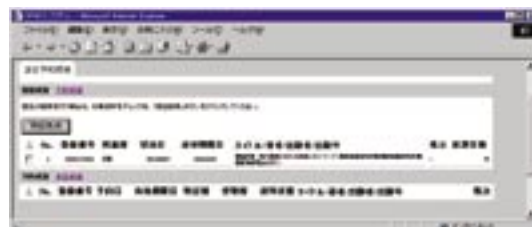
したが、新システムからは、ご自宅からでもインターネット経由で、貸出期限の延長ができることになりました。

【貸出延長の方法】

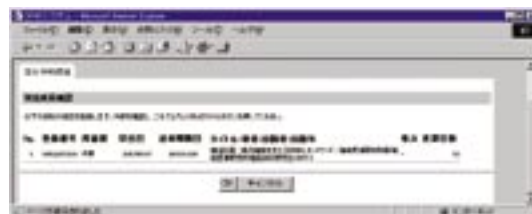
トップページの「貸出予約照会」のメニューを選択しますと、「ユーザログイン画面」に展開します。ここで、ご自身のユーザID番号とパスワードを入力し、「貸出予約照会画面」に展開させます。貸出期間の延長を希望する資料にチェックを入れ、「貸出延長」ボタンをクリックしますと、「貸出延長確認画面」が表示されます。延長する資料が正しければ[OK]ボタンをクリックしてください。正しく延長されると、メニュー画面に戻ります。



ユーザログイン画面



貸出予約照会画面



貸出延長確認画面

④ユーザプロフィール更新

ご自身のパスワードの変更手続きを行うことができます。

トップページ上部の[ログイン]ボタンをクリックしますと、「ユーザログイン画面」に展開します。ここで、ご自身のユーザID番号とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。正しく認証されると、「拡張サービスメニュー」が表示されますので、ここでユーザプロフィール更新を選択してください。そうしますと、ご自身の個人画面に展開しますので、ここで、パスワードの変更を行うことができます。

ご 注 意

システム移行にともなうパスワードの初期化について

2006年3月までの旧システムの「利用記録の照会」で使用されていたパスワードはすべてリセットされています。大変お手数をおかけしますが、新システムで下記のパスワードでログインの上、「ユーザプロフィール更新」画面にて新しいパスワードに変更してください。新システムでの初期設定となるパスワードは、ご身分や入学年によって異なります。

- ・ 2005年度までに入学の学部学生・大学院生・通教生の皆様 : **学籍番号**
- ・ 2006年度4月以降入学の学部学生・大学院生・通教生の皆様 : **生年月日**
- ・ 教職員をはじめ、CHOISカードを利用証とする皆様 : **CHOISカード番号**

※なお、通教生の皆さんのユーザID番号とパスワードとなる学籍番号については、新システムからは、先頭のアルファベットを省いて入力してください。

***2006年秋からは、図書館システムにおいて、貸出中の資料に対する予約サービスや他校地に所蔵されている資料の取り寄せサービスの申し込み手続きができるようになる予定です。サービス開始の準備ができ次第、利用方法などをホームページなどでご案内いたします。**

新収資料紹介

①教職員著作目録 2005.10 - 2006.2 ()は所属学部等

著者名	書名	出版社	配置場所	請求記号
ドミニック・ボダン 陣野 俊史 相田 淑子 (法 学 部)	著 訳 フリーガンの社会学(文庫クセジュ 894)	白水社	開架・中央	783.47/B61
B.コルテ, J.フィーゲン 浅野 孝夫 (理 工 学 部) 平田富夫, 小野孝男, 浅野泰仁	著 訳 組合せ最適化:理論とアルゴリズム	シュプリンガー・ フェアラーク東京	理開	417/Ko79
浅田 統一郎(経 済 学 部) 坂田 幸繁 (経 済 学 部)	編 21世紀の経営と経済 中央大学経済学部創立100周年記念 (セブン&アイ・ホールディングス鈴木敏文代表寄付講座シリーズ 1)	中央大学出版部	開架・中央	335/A81
飯田 朝子 (商 学 部)	著 数え方もひとしお	小学館	開架	815.2/I26
石川 晃弘 (文 学 部) 白石 利政	編著 国際比較からみた日本の職場と労働生活	学文社	開架・中央	366.02.1/I76
松島 静雄 石川 晃弘 (文 学 部)	監修 編 東京に働く人々 労働現場調査20年の成果から	法政大学出版局	開架・中央	366.02.1/I76
伊藤 成彦 (名 誉 教 授)	著 東北アジア平和共同体に向けて 今こそ、日米安保体制の転換を	御茶の水書房	開架	319.102/I89
猪口 孝 (法 学 部)	著 国際政治の見方 9.11後の日本外交	筑摩書房	開架・中央	319.1/I55
猪口 孝 (法 学 部) 田中 明彦	編集 委員 国際政治事典 Encyclopedia of international relations	弘文堂	開架・参考	D319/I55
内野 正幸 (法科大学院)	著 民主制の欠点 仲良く論争しよう	日本評論社	開架・市ヶ谷	313.7/U22
大淵 寛 阿藤 誠 (経 済 学 部)	編著 少子化の政策学(人口学ライブラリー 3)	原書房	開架・中央	334.3/J52
澤田 壽夫 柏木 昇 (法科大学院)	編著 国際的な企業戦略とジョイント・ベンチャー	商事法務	中央・市ヶ谷	335.75/Sa93
国本 伊代 中川 文雄 (商 学 部)	編著 ラテンアメリカ研究への招待 改訂新版	新評論	開架・中央	302.55/Ku45
久米 均 (理 工 学 部)	著 品質経営入門	日科技連出版社	開架・理開	509.66/Ku37
小島 武司 (法 学 部) 小林 学	著 基本講義 民事訴訟法 Illustrational method	信山社出版	開架・中央	327.2/Ko39
小林 道正 (経 済 学 部)	著 よくわかる線形代数の基本と仕組み イラストで学ぶ、ベクトル・行列 の基礎(How-nual図解入門 Visual guide book)	秀和システム	開架・理開	411.3/Ko12
今野 浩 (理 工 学 部)	著 役に立つ一次式 整数計画法「きまぐれな王女」の50年	日本評論社	開架・理開	417.6/Ko75
椎橋 隆幸 (法 学 部)	編 プライマリー刑事訴訟法	不磨書房	開架・中央	327.6/Sh32
和泉 勲 篠田 庄司(理工学部)ほか	編著 著 わかりやすい電子回路	コロナ社	理開	549.3/I99
島村 法夫 (商 学 部)	著 ヘミングウェイ Ernest Hemingway:1899-1961 (世界の作家 人と文学)	勉誠出版	開架・中央	930.29/H52/ Sh39
藤本 和則 木村 陽一, 松下 光範, 庄司 裕子 (理 工 学 部)	編著 共著 意志決定支援とネットビジネス	オーム社	理開	007.1/F62
堀部 政男 (法科大学院) 長谷部 恭男	編 メディア判例百選(別冊ジュリスト No.179)	有斐閣	雑誌室・中央	Z32/B10
松下 貢 (理 工 学 部)	編 生物学にみられるパターンとその起源	東京大学出版会	理開	263.7/Ma88
丸山 秀平 (法 学 部)	著 商法 1 第2版 総則・商行為法/手形・小切手法(基礎コース 法学 6)	新世社	開架・中央	325/Sh95
丸山 秀平 (法 学 部)	著 やさしい会社法 第8版	法学書院	開架・中央	325.2/Ma59
カール・マルクス 山中 隆次 (名 誉 教 授)	著 訳 マルクスパリ手稿 経済学・哲学・社会主義	御茶の水書房	中央	331.6/Ma59
村松 明 山口 明穂 (文 学 部)	編 旺文社国語辞典 第10版	旺文社	開架	D813.1/Ma82
山口 真美 (文 学 部)	著 視覚世界の謎に迫る 脳と視覚の実験心理学(ブルーボックス B-1501)	講談社	開架・中央	141.21/Y24
渡辺 達徳 (法科大学院)	著 民法渡辺道場	日本評論社	開架・中央	324/W46
中央大学保健体育研究所 体力診断テスト20年研究班	編 中央大学における体力診断テスト20年間の推移 1980-1999	中央大学出版部	開架・中央	M780.18/C66



(1) 図書館長の交代と新館長就任について

2005年10月に着任した古城利明法学部教授が、引き続き図書館長を務めることになりました。任期は、2006年4月から2008年3月末までとなっています。本号に就任挨拶を掲載しています。

(2) 4月企画展示実施

本誌で紹介された「オウエン-チャーティスト関係コレクション」について、下記の日程で展示を行います。

期間：4月3日(月)～4月15日(土) 場所：中央館2階ホール(展示ケース)

(3) 2006年度開閉館館日程について

今年度につきましては、学内関係部署との調整中のため、詳細について決定しておりません。確定致しましたら、図書館ホームページ、毎月配付している図書館カレンダーにてお知らせいたします。

なお、2006年度の中央図書館、理工学部分館の休日開館は、以下の日程を予定しています。

- 1) 中央図書館 (2006年) 7月9日(日)、16日(日)、23日(日) : 10時～18時
 8月5日(土)、12日(土)、19日(土) : 9時～22時
 (8月は通信教育部スクーリングに伴う休日開館)
 (2007年) 1月14日(日)、21日(日) : 10時～18時
- 2) 理工学部分館 (2006年) 7月23日(日)、30日(日) : 10時～18時
 (2007年) 1月21日(日)、28日(日) : 10時～18時

(4) 2006年度サービス状況について

キャンパス	館・室名	場 所	開館時間		
			平日	土	日・祝
多摩キャンパス	中央図書館		9:00～22:00		△
	大学院図書室	2号館5階	9:00～20:00		閉室
	文学部専攻図書室	3号館4階～9階	9:30～20:00	9:30～12:00	閉室
	総合政策学部図書室	11号館3階	9:00～20:00	9:00～17:00	閉室
	法・商学部学生図書室	6・5号館3階	9:00～21:00 #1		閉室
後楽園キャンパス	理工学部分館	6号館5階～7階	9:00～21:00 #2		△
	文系大学院図書室	3号館13階	9:00～22:00 #3		10:00～18:00 #4
市ヶ谷キャンパス	市ヶ谷キャンパス図書室	4階	9:00～22:00		10:00～18:00 #4
	同 上	3階	9:00～24:00 #5		

休館日については、各館により異なりますので、詳細はホームページをご覧ください。

△：時期により休日開館を行います。(上記(3)を参照)

#1：現在の予定ですので、変更の可能性があります。経済学部学生図書室については、経済学部事務室にお問い合わせ下さい。

#2：試験時期には、22時まで開館します。 #3：大学院授業期間以外は20:00まで。

#4：大学院授業期間以外は閉室。

#5：年末年始は除きます。

編集後記

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。本学図書館では、昨年2005年10月に新館長を迎えました。本誌作成にあたり、古城利明教授より「図書館長就任に当たって」のごあいさつを頂きました。広報スタッフ一同、今年度もより一層充実した誌面を目指し、広報活動に励んでいきたいと思います。

また、この4月から図書館システムが新システムに変更になり、利用者の皆様には、移行作業に伴いご不便をおかけいたしておりますこととお詫び申し上げます。

最後に、特集「オウエン-チャーティスト関係コレクション」の原稿を執筆して下さいました土方直史名誉教授に厚く御礼申し上げます。